

ディプロマ・ポリシー

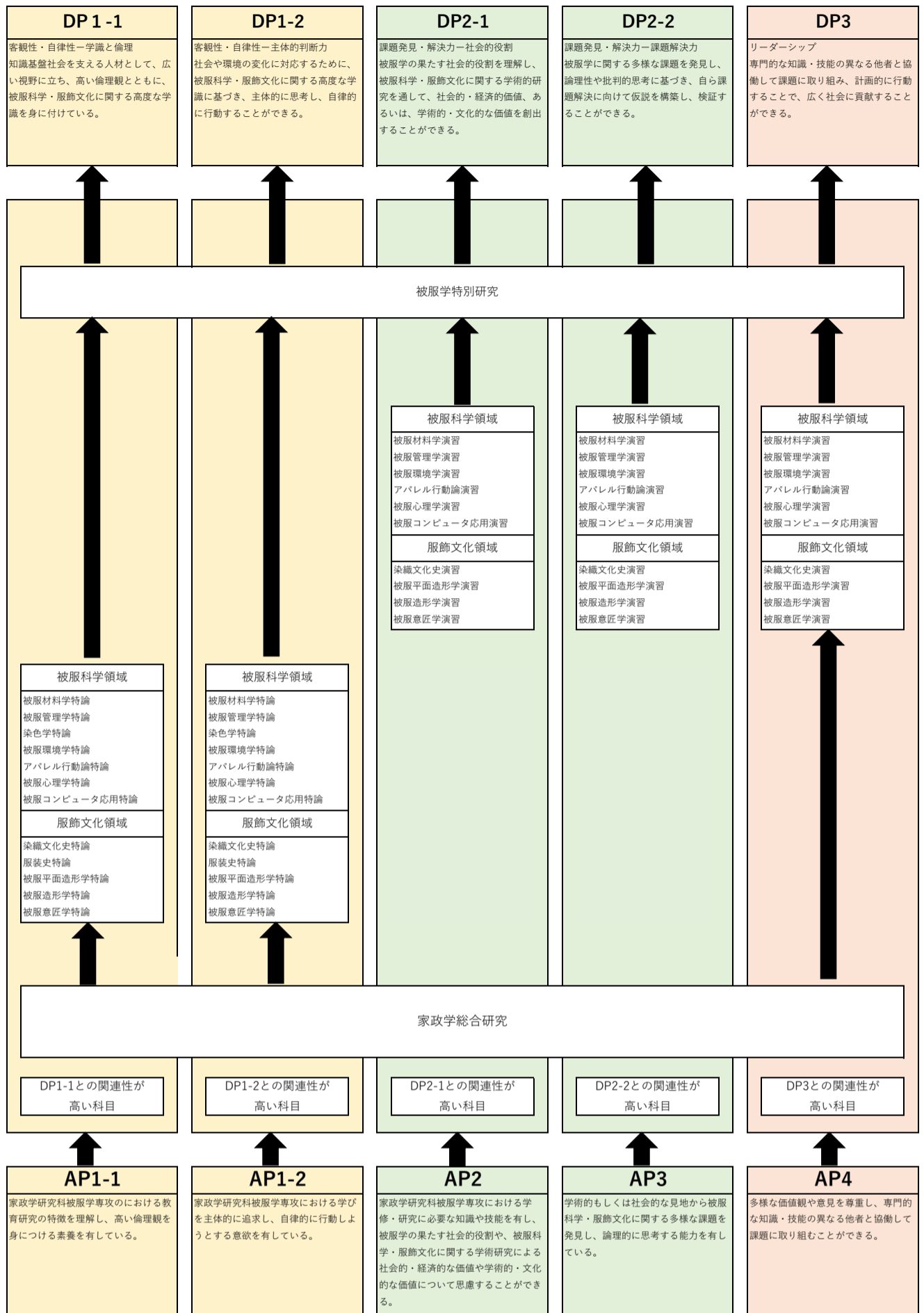
CP3
 専門分野の異なる複数の指導教員のもとで、被服科学・服飾文化領域における学術的な課題を設定し、調査分析に基づく資料作成・プレゼンテーション・ディスカッションにより研究を計画的に進め、その成果を修士論文にまとめる「被服学特別研究」を設置し、必修とする。「被服学特別研究」では被服科学・服飾文化に関する高度な知識とともに、グローバルな環境で活躍する高度な人材に必要とされるライティング・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を修得する。

CP2
 被服学の専門的な知識・技能を修得し、社会的な課題解決に応用し、社会的・経済的な価値、あるいは、学術的・文化的な価値を創出する能力を養成するために、順次性のある体系的な専門科目を被服科学領域と服飾文化領域に区分して編成する。

CP1
 知識基盤社会を支える人材として必要とされる汎用的な能力を身につけ、専門領域を超えて学際的な家政学の広範な知識・技術を修得するために共通科目の「家政学総合研究」（2単位）を1年次に設定して必修とする。

カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー



※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「○」の科目を記述している。